

2014年度秋学期 「法学方法論」課題 **その2**

2014.10.17/10.22

1. 類推解釈判例の検索と要約
2. その裁判事例に対する**反対解釈**の応用

1. 判例の検索と要約

類推解釈を行った**昭和年代**の最高裁・大審院判例を
次頁のやり方で検索し、そこから一つを選択し、

1. **判例名の表示** (課題①と同様、正確かつ詳細に)
2. **類推解釈の定義**
3. **事件の概要** (事案の概要ではない)
(その裁判はどの様な事件に対してなされたか)
4. **適用法令名** (類推解釈した条文。条文数まででよい)
5. **判決(あるいは決定)主文**
6. **類推解釈に関わる「判決理由」部分の要約**
を記載する。

判例検索方法 ①

1. LEX/DBインターネット、LEGAL Base、Westlaw Japan、D1-Law などを利用。
法学部端末室、中央図書館、11号館図書館などの端末から。
2. 裁判所の判例検索システムを利用。
http://www.courts.go.jp/search/jhsp0010?action_id=first&hanreiSrchKbn=02

注意事項

判例検索方法 ②

- 検索語としては、「**類推**」を入力するとよい。
- 書誌だけでなく、必ず**全文**も確認すること！
- 多数ヒットするが、類推解釈をするべきでないとしている判例もあることに注意
- 類推解釈を認めているのが、上告趣意や反対意見や補足意見でないことを必ず確認。
- **判例評釈のあるもの**のほうが無難。

ここで間違えたら、0点！

2. 反対解釈の応用

選択した判例において

1. **反対解釈の定義**
2. **適用法文を類推解釈をせずに、反対解釈した場合の判決の主文**
3. **その判決理由を自分で考え、
裁判官になったつもりで記載する。**

レポートの作成と提出

- ☆ 金曜日クラスか水曜日クラスかを明記する。
- ☆ A4版レポート用紙に**手書き**する。
- ☆ 枚数限定はしない。
- ☆ 提出日及び提出場所：
金：**11月 7日(金)**授業終了後 11-402教室
水：**11月12日(水)**授業終了後 11-402教室
* 遅れても受理するが、日数に応じて減点。
- ☆ 満点：**20点**
- ☆ 優秀者表彰資格：
課題1と課題2の合計点が32点以上で最高点の者。
課題2提出日に賞品を贈呈する。